



ピンク色のスプレーギク 「スプレー愛知秋1号」を開発

— 花色が美しく、低温伸長性の優れた新品種 —

開発の背景・ニーズ

愛知県は全国一のスプレーギク生産県です。産地からは、6月、10月にもピンク色の花が咲き、冬季にも茎の伸長性が良い品種の開発が強く求められています。そこで、高温下でも花びらが退色しにくく、伸長性の高い秋系ピンク色品種の開発に取り組みました。

成果の内容

開発した品種の特徴は、

- (1) すでに普及している本県育成品種「プリティララ」に比べ、高温下でも花びらが退色しにくいため、11月～5月はもとより、6月、10月においてもピンク色品種として出荷できます。
- (2) 低温伸長性に優れているため、冬季にも安定した生産が可能です。
- (3) 花びらが斜め上を向き、美しい形の花を長く楽しむことができます。
- (4) 切り花は、3週間程度観賞できます。

本品種は平成26年11月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。



「スプレー愛知秋1号」



「スプレー愛知秋1号」 「プリティララ」
10月における「スプレー愛知秋1号」の花色



産地における試作の様子（豊川市）

愛知県農業への貢献

本品種は、平成27年に年間5万本、平成29年には年間50万本の生産を予定しています。秋系ピンク色スプレーギクの主力品種として、産地のブランド力向上への寄与が期待できます。